

実践を通じて「運動文化論」を学ぼう！

「できる・わかるから一步踏み込んで、子どもたちの揺れや葛藤と向き合う体育実践」
 ー教材・文化との出会いや対峙で 子どもの声をー

今年度、大阪支部研究部では上記テーマのもと、まずは土台として「うまくなること」の保障が必要と考え、第1回の例会で陸上教材の技術学習や授業づくりについて、運動力学やアフォーダンス論についても学習しながら整理してきました。

しかし授業の中では、当然「うまい・へた」をめぐるの、あるいはそれに伴う子ども同士の間関係や生活背景による葛藤、トラブル等がおこると想定されます。

その時、技術学習にとどまらず、そのスポーツにおける競争に対する見方や競い合い方、歴史的な背景やねがい等々、文化論的な視点を入れていく事が、ひょっとしたらもう少し生活や関係性にまで切り込めるのではないかと考えてきました。

そこで今回は**兵庫支部の岨和正さん**をおまねきして、「運動文化論的な視点を入れることで授業がどう変わるのか」「どんな切込みが可能となるのか」といったことを実践実感から語っていただきます。うまくする（技術学習）だけにとどまらず「運動文化論」を授業実践に生かそうと思ったのはなぜなのか、その中で手ごたえのあった実践はどんなものだったのか、を語っていただく予定です。

また、研究部員による実践プランまたは途中経過を報告し、岨さんからの授業実践のなかの運動文化論とのかかわりも、参加者のみなさんと考えていきたいと思えます。ぜひ、ご参加ください！！

例会内容（予定）

- ① 今年度の研究部テーマと内容について
- ② 実践構想の背景にあるもの
- ③ 実践プランまたは途中経過
- ④ 岨講演「運動文化論で実践がかわる」（仮）
- ⑤ 実践プラン検討

日時 2018年2月24日（土）
 13:00～17:00

場所 新日本婦人の会 大阪本部
 （新谷町第二ビル2階）

※問い合わせは 080-3132-3006（川淵）まで

※参加費無料、どなたでも参加いただけます。

